

# 研究の概要及び研修成果の活用

石川県石川郡野々市町立布水中学校 教諭  
金沢大学大学院教育学研究科国語教育専攻

日向 正志

## 「読み物資料を用いた道徳の授業と 国語科による文学教育との関連性に関する研究」

### 1. 研究動機

現場の声として、国語科の先生方からは、「今日の国語の授業は道徳みたいだった」「いつまでたってもこの作品が終わらない、ドロ沼状態だ」という言葉を、特に文学作品を扱っているときに聞くことがある。また、担任の先生方(さまざまな教科の先生方)からは、「今日の道徳の授業は国語みたいだった」「読み物資料を扱うとどうして国語の時間のよ様な読み取りみたいになるんだろう」などという言葉を目にするのも珍しくない。

「道徳」と「国語」の関係が、このような形で直観的に捉えられている現状を踏まえて、そこに含まれている問題を明らかにしてみたいというのが本論文の動機である。

### 2. 研究手続き

研究の手続きとしては、

「読み物資料」が道徳授業の主たる資料となった過程、資料のもつ特質等を、過去の学習指導要領・学習指導書を基に、道徳授業において「読み物資料」が主たる資料として定着してきた理由について探究する。

国語科における「文学教育」を、文部省学習指導要領・学習指導書を基に検証しながら、現在の国語科における「読むこと」の授業の実態を検証する。

国語科の授業をしていながら道徳の授業のようになってしまったり、道徳の授業でありながら国語科の授業のようになってしまう原因を、授業研究を基に検証・考察する。

これらのことを検証していく中で、国語科教育における文学作品の扱い方、道徳における「読み物資料」(特に文学作品)の扱い方を探っていきたいと考える。さらには、「文学作品」を通しての国語科教育と道徳教育の相互交流を図る学習活動への糸口を探ることができればと考える。

### 3. 目次

#### 序章 研究の目的と意義

第1節 「道徳」の現状 - 学生の声・教師の声 -

第2節 「道徳」の現状 - 「道徳教育推進状況調査」結果より -

第3節 近年の学校現場における道徳教育

第4節 研究の視点 道徳と文学教育との関連

#### 第1章 道徳における「読み物資料」の位置づけ

第1節 学習指導要領「道徳」特設以後の「読み物資料」の変遷

第2節 「読み物資料」の定義と要件

第3節 「読み物資料」の特質と有効性

第4節 「読み物資料」に求められるもの

#### 第2章 中学校学習指導要領国語科における文学教材の扱い方の変遷

第1節 文学教育とは

第2節 学習指導要領の変遷

第3節 中学校国語教科書の文学作品の変遷

#### 第3章 道徳副読本における「読み物資料」の実際

第1節 平成16年度版各社副読本の資料

- 第 2 節 道徳副読本掲載時における資料再構成のポイント
- 第 3 節 読み物資料「自作資料」
- 第 4 章 授業実践「二度と通らない旅人」
  - 第 1 節 作品について
  - 第 2 節 国語授業 実践
  - 第 3 節 道徳授業 実践
  - 第 4 節 道徳授業 実践
- 第 5 章 授業実践「夜の果物屋」
  - 第 1 節 作品について
  - 第 2 節 国語授業 実践
  - 第 3 節 道徳授業 実践
- 終章
  - 第 1 節 道徳授業と文学教育の関連
  - 第 2 節 まとめ
- 参考文献
- 終わりに

4. 道徳の現状 「道徳教育推進状況調査」平成 15 年度・文部科学省より  
 【道徳の時間の授業数】(平成 14 年度実績) 中学校年間標準時数 35 時間

35 時間以上	59.1 %
20 ~ 30 時間	39.9 %
0 ~ 19 時間	0.9 %

【授業で用いられる資料】

「心のノート」	90.4%
民間の教材会社で開発・刊行した読み物資料	70.8%
新聞記事	69.6%
映像コンテンツ(テレビ放送、ビデオテープ、DVD、スライド、16ミリフィルム、TPシート等)	66.3%
書籍・雑誌(随筆、評論、小説、詩、伝記等)	56.6%
文部科学省(旧文部省を含む)で開発・刊行した読み物資料	49.4%
都道府県や市町村教育委員会において開発・刊行した読み物資料	48.8%

5. 学習指導要領より

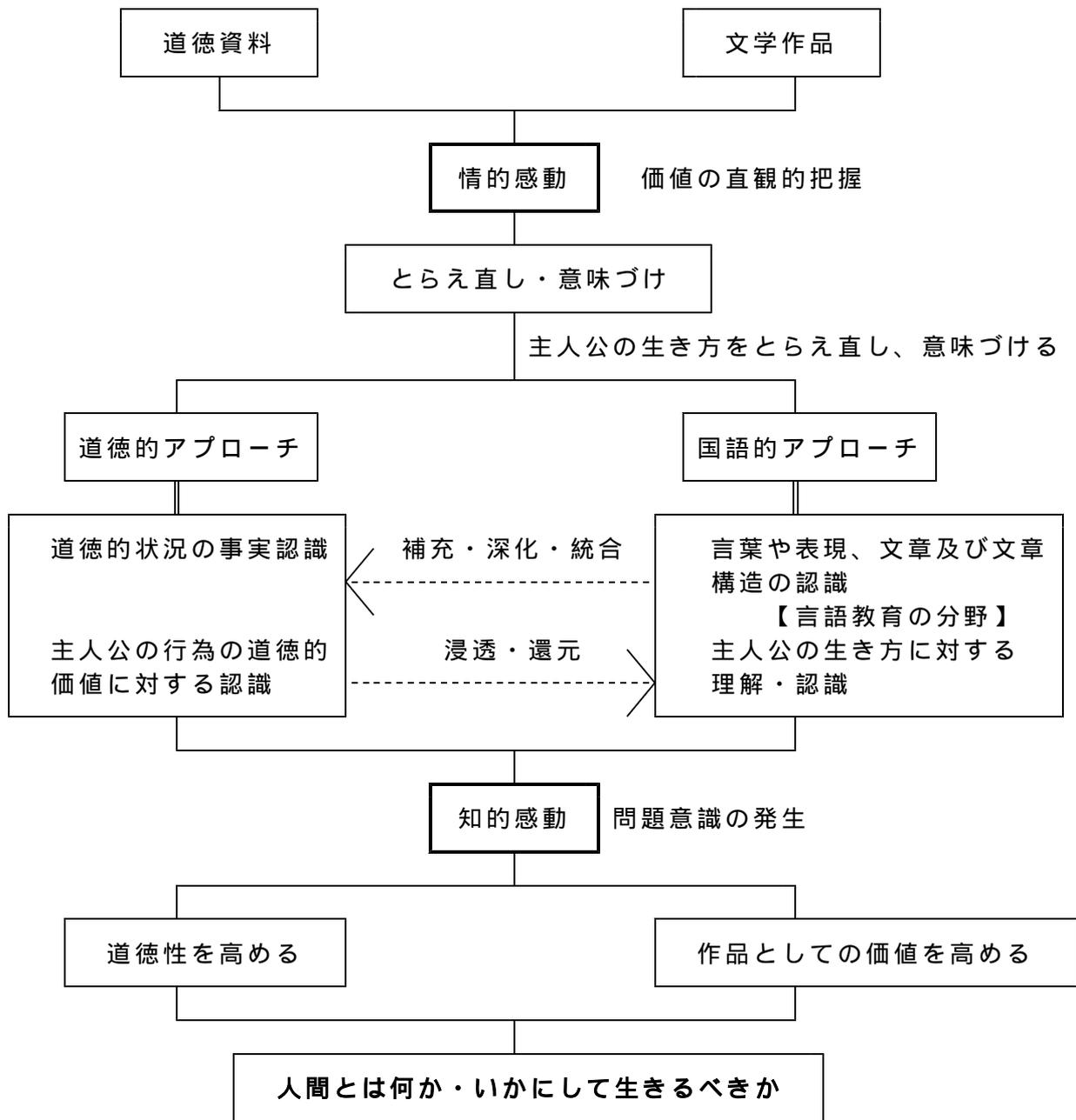
平成元年度版学習指導要領(平成 4 年 4 月施行) (下線は日向、以下同じ)

第 1 目標  
 国語を正確に理解し適切に表現する能力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。

平成 10 年度版学習指導要領(平成 14 年 4 月施行)

第 1 目標  
 国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。

6. 道徳と文学教育のアプローチ相関図



7. 「文学作品」を通しての国語科教育と道徳教育の相互交流を図る学習活動

